

## ■ 野外活動のための安心・安全講座

# 東日本大震災10年 ～地震列島日本に暮らす～

## 1. はじめに

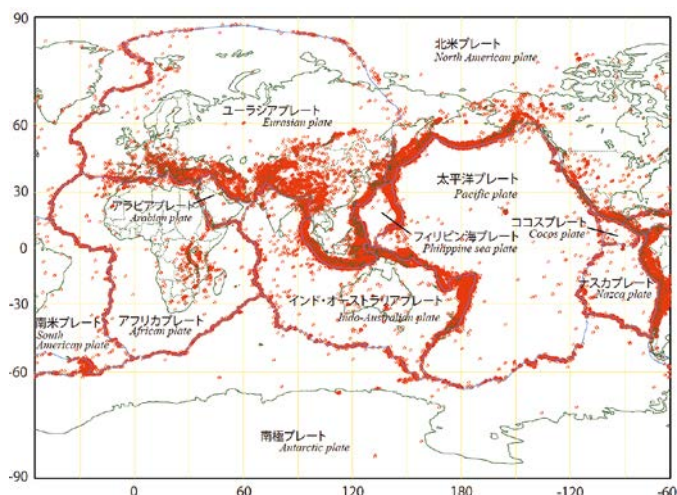
私たちは地震大国といわれる日本に住んでいます。小さな地震は日常的に経験しているためか「あ、また地震か」「この間の地震より小さいから大丈夫だな」などとやり過ごしてしまう傾向があります。これは人間の心もつ特性で、無意識に都合のよい情報だけを見てしまったり現実を過小評価して、安心を得ようとするもので「正常性バイアス」と呼ばれます。

東日本大震災では、巨大な津波を伴い、15,899人が亡くなり、2,526人が現在も行方不明です(2021年3月)。また、これまでの10年間に死者が出た地震は10回にのぼります。

大丈夫だろうという感覚だけでは絶対に対応できない地震や津波の脅威についての十分な知識と防災のスキルをもつことが不可欠です。

## 2. 地震や津波の脅威

中学校や高校で学習したと思いますが、日本付近は海のプレートである太平洋プレート、フィリピン海プレートが、陸のプレートである北米プレートとユーラシアプレートに向かって数cm/年の速度で動いており、陸のプレートの下に沈み込んでいます。そのため、日本周辺では複雑な力



出展：気象庁ホームページ「世界の主なプレートと地震の分布」  
[https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/jishin/about\\_eq.html](https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/jishin/about_eq.html)

がかかり、世界でも有数の地震大国となっているのです。東日本大震災では日本海溝に沈み込む海のプレートに引きずられた陸のプレートが反発して、大地震と大津波を引き起こしました。2016年の熊本地震は、陸のプレートの内部に力が加わり、断層が動いて発生した地震です。

地震で最も怖いのは津波の被害です。東日本大震災では14時46分の地震発生後、14時49分に津波警報が出され、宮城県石巻市で30分後、岩手県宮古市で32分後に3mの津波を観測しています。その後、7～8mの巨大津波になるまでわずか5分程度しかかかりませんでした。1983年5月の日本海中部地震では秋田県男鹿市の海岸を遠方で訪れた小学生13人が地震による津波に飲み込まれ命を落としています。地震発生が11時59分。そのわずか9分後には津波が到達しています。

海の近くに生活している人たちは、常に地震と津波を考えながら生活し、また避難訓練等も頻繁に行っています。しかし、都市部や内陸部に住んでいる人たちは、「地震＝津波」と即座に考えることができるでしょうか。もし、隊活動で潮干狩りに出かけていたら、海沿いの道をサイクリングしていたら、海辺のキャンプ場でキャンプしていたら……。安全計画に地震発生を想定した対応が考えられていますか。避難路を確認していますか。危険は海の近くだけではありません。山間部では斜面崩落や落石が、都市部ではビルの倒壊や落下物の危険が考えられます。

## 3. スカウトスキルを活かして

「このくらいの地震なら大丈夫」と思いたい、その数分間の時間のロスが避難の遅れにつながり、取り返しのつかない事態に陥ってしまうかもしれません。その教訓は、これまでの多くの地震災害で示されています。「地震が起きたら急いで高台へ避難する」という訓練を重ねていた小中学校で、その訓練に基づく行動が多くの人命を救った例がありました。

守るべきは自分とスカウトたちの命です。最初の一撃を避けることができれば、これまで身につけたスカウトスキルが命をつなぐのに役立ってくれます。ロープ結び、野営技能、野外料理の技、山野草の知識、水を浄化する方法など、これまでスカウト活動で取り組んだことがよみがえってくるはず。ですから、活動中に地震が起きたら、まず身を守ることを第一に考えて行動できるように、日々のスカウト活動で意識的に取り組んでいくことが重要です。

### ■ 東日本大震災以降の死者の出た地震

年月	震央地名	M	人的被害	物的被害
2021年2月13日	福島県沖	7.3	死1、負傷187	全壊69、半壊729、損壊19,758
2018年9月6日	胆振地方中東部	6.7	死43、負傷782	全壊469、半壊1,660、損壊13,849
2018年6月18日	大阪府北部	6.1	死6、負傷462	全壊21、半壊483、損壊61,266
2016年4月14日～	熊本県熊本地方など	7.3	死273、負傷2,809	全壊8,667、半壊34,719、損壊162,500
2012年12月7日	三陸沖	7.3	死1、負傷15	損壊1
2012年3月14日	千葉県東方沖	6.1	死1、負傷1	損壊3
2011年6月30日	長野県中部	5.4	死1、負傷17	半壊24、損壊6,117
2011年4月11日	福島県浜通り	7.0	死4、負傷10	※東日本大震災に含める
2011年4月7日	宮城県沖	7.2	死4、負傷296	※東日本大震災に含める
2011年3月12日	長野・新潟県境	6.7	死3、負傷57	全壊73、半壊427

気象庁「日本付近で発生した主な被害地震(平成18年～平成27年)および(平成28年以降)」

(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/higai/higai1996-new.html>)を加工して作成

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会

### お詫びと訂正／本誌発行版からWEBサイト掲載版における修正

本誌発行時、岩手県釜石市と宮城県石巻市とを誤って記載しておりました。多くの方々には不快な思いをおかけしましたことに、深くお詫びを申し上げます。また、当該の本文末尾9行目の表現が適切ではないとご指摘をいただき、それを改めました。今後このようなことのないよう、原稿執筆陣、編集担当者ともども連携を深め、記事記載内容の確認体制を改めてまいります。